度 2008　学期 後期	曜日・校時　木3	必修選択　必修	単位数　1
授業科目/(英語名)	フランス語 Ⅳ French Ⅳ		
対象年次　2 年次	講義形態　演習	教室	
対象学生(クラス等)　2P18・19＋2F27・28	科目分類　外国語科目(フランス語)		

担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー
担当教員:松藤 英恵/Eメールアドレス:cinema_naga2@hotmail.com /研究室:全学教育非常勤講師室
/オフィスアワー:火曜日 10:30～12:30／木曜日 14:30～15:30

担当教員(オムニバス科目等)

授巣のねらい/授業方法 (学習指導法)/授業到達目標

授業のねらい:前期(フランス語Ⅲ)の内容を継続して行います。文法の範囲を広げつつ、後期では、1 年次(フランス語Ⅱ)で勉強した時間や道順を尋ねる、レストランで食事をする、買い物をする等の表現に加え、乗り物に乗る、電話をかける、ホテルなどの予約をする等、より実践的なコミュニケーション能力を身に着けます。また、前期に引き続き、生きたフランス語に親しめるよう、講義ではヴィデオや 日用品、写真などの教材を利用し、口頭やジェスチャーを使っての表現などにも留意します。また、フランスの政治・経済・社会・歴史・文化・産業等の紹介も行います。

授業方法:教科書、オリジナルのプリント教材の他、ビデオや CD、時事問題等の教材を毎回使用しながら授業を進めます。

授業到達目標:実際にフランス語圏を旅行したり、生活したりする上で必要な表現を、口頭・筆記の両方で表現できるようになることが最大の目標です。文部科学省フランス語検定 3 級、フランス国民教育省フランス語資格試験 DELFA2 に合格できるよう指導します。

授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)

授業内容 (概要):①練習問題オリジナルプリントを使っての文法解説と筆記演習、②教科書とCDを使っての発音練習、③同じく教科書と CD を使ってのヒアリング練習、④教科書及びオリジナルプリント、ヴィデオ教材を使用しての実践的な会話演習、⑤日用品、ヴィデオ教材、時事問題他様々な資料を使ってのフランスの政治・経済・社会・歴史・文化・産業等の紹介、の 5 つの要素を網羅して授業を進めます。

第 1 回 オリエンテーション、第 4 課 疑問形容詞
第 2 回 第4課 現在分詞とジェロンディフ
第 3 回 〃 ボーヌ地方とワイン
第 4 回 第 5 課 受動態
第 5 回 〃 比較級と最上級
第 6 回 〃 ローヌ・アルプ地方の文化
第 7回 電話をかける時の表現
第 8 回 第 6 課 強調構文、中性代名詞の復習、年号の表現
第 9 回 シャモニーの伝統料理
第 10 回 乗り物の切符を買う、ホテルの予約を入れる表現
第11回 条件法現在
第12回 条件法過去
第13回 マルセイユとブイヤベース
第14回 授業のまとめと口頭試験
第15回 授業のまとめと定期試験

注意！:上記の E メールアドレスには、一部の携帯電話を使っての送受信が出来ないことがあります。
送受信できない場合は、別の携帯電話或いはパソコンのアドレスから送信し直して下さい。

キーワード	フランス語を使って、世界にはばたこう！
教科書・教材・参考書	教科書:前期に同じ。『Elle est gourmande!2(彼女は食いしん坊! 2』(朝日出版社) 辞書:仏和辞典を 1 冊、出来れば和仏辞典も購入すること。出来るだけ新しいもの。電子辞書は不可。旺文社『プチ・ロワイヤル仏和辞典』『プチ・ロワイヤル和仏辞典』『ロワイヤル仏和中辞典』がお勧め。授業中に指示します。 なお、配布プリント、提出レポート等はすべて A4 サイズに統一します。
成績評価の方法・基準等	期末定期試験の成績 50% 期末口頭試験の成績 40% 授業への取り組み方・意欲等 10%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ/学習・教育目標	
備考(準備学習等)	繰り返し復習することによって、フランス語を確実に自分のものとして定着させましょう。 日本のテレビや新聞、雑誌、インターネット等を使って、フランス語圏の様々な時事問題や文化などの情報に、積極的に触れましょう。